

16. 国際協力室

室長 松岡 隆介

概要

今日、公衆衛生上の大きな脅威となるような新興・再興感染症が、地球上のあらゆる地域から、短期間のうちに我が国に侵入する可能性がある。MERS、鳥インフルエンザなど新たな病原体による感染症が見つかる一方、未だ多くの感染症が我が国及び周辺国において流行を繰り返している。このような状況のなか国民を感染症から守るため適切な対応を取るためには、世界規模での情報収集、研究・技術面での国際貢献等、世界保健機関(WHO)や諸外国の研究機関や国内関係機関等との連携調整が重要である。

国際協力室は、平成9年設置後、国立感染症研究所の所掌事務に係る国際的な協力と調査及び研究の調整を行っている。具体的には、外務省、独立行政法人国際協力機構(JICA)等から厚生労働省、国立国際医療研究センター等を通じて依頼される開発途上国等に対する技術協力(外国人研修員の受け入れを含む)の調整、国際機関である世界保健機関(WHO)・同西太平洋地域事務局(WPRO)及び外国政府機関等との協力(感染症国際対策のための専門家派遣、保健大臣等要人の受け入れ等を含む)の調整、関係外国研究機関との協力調整等、以下の業務を実施している。

I. 諸外国との技術協力の調整

諸外国との技術協力については、外国人研修生等の受け入れと、国立感染症研究所からの専門家の派遣といった人的交流がその中心となる。外国人研修生等の受け入れについては、令和2年4月から令和3年3月までに、10カ国・地域から14名を受け入れた(別表1)。また、国立感染症研究所の専門家の派遣については、令和2年4月から令和3年3月までに、2カ国・地域に2名を派遣した(別表2)。なお、オンラインや電話による国際会議等への出席については、令和2年4月から令和3年3月までに、261会議等に426名が出席した。

また、外国政府機関との協力については、関係国との国際シンポジウムの開催を行っており、その概要は以下のとおりである。

1. 外国機関との連携協力

(1) 各国との感染症協力体制

ア MOUの締結

なし

イ シンポジウム開催

(ア) 令和2年9月10日 台湾の感染症研究機関である台湾国立疾病予防センター(台湾CDC)と第17回日本-台湾感染症シンポジウムを開催(オンライン会議にて、新型コロナウイルス感染症と実地疫学専門家養成コースを題材に、両機関における取り組みなどについて意見交換を行い、情報を共有した。)

(イ) 令和2年10月29-30日 日本・中国・韓国の国立感染症研究機関[感染研、中国国立疾病対策予防センター(中国CDC)、韓国国立疾病管理庁(KDCA)]のシンポジウム及び、第14回日中韓感染症フォーラムを開催(オンライン会議にて、これら三機関から感染症対策、研究等に携わる専門家が参加し、同シンポジウムでは、新型コロナウイルス感染症への対応について、また感染症フォーラムでは、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の現状と診断検査戦略について、各機関の取り組み状況の発表と討議を行った。)

ウ 外国機関へのワクチン株供与

なし

エ 共同研究報告会ほか

なし

2. 国際協力・研修業務

(1) JICAの研修への協力

ア 集団研修(オンライン等含)

(ア) 令和3年3月20日-25日 「HIVを含む各種感染症コントロールのための検査技術とサーベイランス強化」(8カ国・10名・品質保証・管理部、病原体ゲノム解析研究センター、エイズ研究センタ

一)。

イ 集団研修フォローアップ

なし

ウ その他研修

なし

(2) JICA 技術プロジェクト等への協力

ア ベトナム国における JICA 協力

「感染症の予防・対応能力向上のための実験室の機能及び連携強化プロジェクト」

(ア) 派遣

なし

(イ) その他

令和 3 年 2 月 9 日 感染研と JICA 担当者との意見交換会(オンライン)

(3) 国際緊急援助隊への協力

なし

(4) その他研修協力

なし

3. 国際機関及び外国政府機関等との協力の調整

(1) WHO・WPRO 関連調整

ア 会議等開催

なし

イ 会議等派遣(オンライン等含) ※一部を抜粋

(ア) 令和 2 年 6 月 15 日 WPRO ワクチン地域戦略に関する Country Consultation 会議(オンライン・1 名)

(イ) 令和 2 年 6 月 16-18 日 WHO WPRO 第 29 回 TAG/EPI ワクチン予防可能疾患専門家助言会議(オンライン・2 名)

(ウ) 令和 2 年 7 月 1-2 日 WHO 新型コロナウイルス感染症バーチャルリサーチイノベーションフォーラム(オンライン・2 名)

(エ) 令和 2 年 7 月 10 日 WHO 西太平洋地域事務局が主催する APSEDIII (Asia Pacific Strategy for Emerging Diseases) (オンライン・1 名)

(オ) 令和 2 年 7 月 17 日 WHO 本部、WPRO AMR コラボレーションセンターに関する会議(オンライン・1 名)

(カ) 令和 2 年 8 月 11 日、9 月 3 日 WHO 2020 年南半球用インフルエンザワクチン株選定事前会議(オンライン・3 名)

(キ) 令和 2 年 8 月 24 日 第 30 回 WHO ERL, CCs, インフルエンザワクチン製造 関係者会議(オンライン・2 名)

(ク) 令和 2 年 8 月 24-27 日 第 71 回 WHO Expert Committee on Biological Standardization (ECBS) 会議(オンライン・2 名)

(ケ) 令和 2 年 9 月 3 日 WHO 2020 年南半球用獣共通インフルエンザワクチン株選定事前会議(オンライン・3 名)

(コ) 令和 2 年 9 月 16、21、29 日-10 月 1 日 南半球インフルエンザワクチン株選定会議(オンライン・3 名)

(サ) 令和 2 年 9 月 23 日 WHO AMR コラボレーションセンター年次会議(オンライン・1 名)

(シ) 令和 2 年 10 月 5-7 日 予防接種に関する戦略的諮問委員会ミーティング(オンライン・1 名)

(ス) 令和 2 年 10 月 6-8 日 WHO インフルエンザと新型コロナウイルス感染症サーベイランスコンサルテーション会議(オンライン・1 名)

(セ) 令和 2 年 10 月 14-16 日 WHO 標準品 Performance Evaluation Framework 開発会議(オンライン・2 名)

(ソ) 令和 2 年 10 月 19-22 日 第 72 回 WHO Expert Committee on Biological Standardization (ECBS) 会議(オンライン・3 名)

(タ) 令和 2 年 10 月 22 日 WPRO AMR Guidance Call (オンライン・1 名)

(チ) 令和 2 年 10 月 26 日 WHO 2020 年インフルエンザウイルス抗ウイルス薬感受性サーベイランスワーキンググループバーチャル会議(オンライン・1 名)

(ツ) 令和 2 年 11 月 2 日 WHO アドホック会議: 新型コロナウイルスワクチン臨床評価(オンライン・1 名)

(テ) 令和 2 年 11 月 4 日 インフルエンザワクチン Cross Functional ワーキンググループ会議(オンライン・2 名)

(ト) 令和 2 年 11 月 4-5 日 第 22 回天然痘ウイルス研究諮問委員会ミーティング(オンライン・1 名)

(ナ) 令和 2 年 11 月 9、16 日 BCG 力価試験における ATP 測定法の検討(オンライン・2 名)

(ニ) 令和 2 年 11 月 25 日 第 26 回 WHO 西太平洋地域におけるポリオ根絶の認証に関する地域委員会(オンライン・2 名)

国際協力室

- (ヌ) 令和2年12月1-3日 WPRO ウイルス性肝炎根絶専門家コンサルテーション会議(オンライン・1名)
- (ネ) 令和2年12月7日 生物製剤 NCL ネットワーク会議:新型コロナワクチン(オンライン・2名)
- (ノ) 令和3年1月6、20日、2月3日 インフルエンザワクチン候補株及び国際標準試薬作製に関する WHO CC、ERL、国際ワクチン製造会社協会間会議(オンライン・1名)
- (ハ) 令和3年1月12-13日 新型コロナウイルス変異株対応に関する研究開発グローバル会議(オンライン・1名)
- (ヒ) 令和3年1月12日-2月10日 WHO からの要請に基づく、新型コロナウイルス感染症に関する調査(中国・1名)
- (フ) 令和3年1月15-16日 WHO アドホック会議:新型コロナ変異株(オンライン・1名)
- (ヘ) 令和3年1月15-16日 WHO アドホック会議:新型コロナワクチン Knowledge Gaps and Research Priorities(オンライン・3名)
- (ホ) 令和3年1月25-29日 WHO 世界麻疹風疹実験室ネットワークのための技術会議(オンライン・1名)
- (マ) 令和3年2月11-12日 WHO 新型コロナワクチンアドホック会議(オンライン・4名)
- (シ) 令和3年2月17日 AMR ワンヘルス東京会議(オンライン・3名)
- (ス) 令和3年2月17、19、23、25日 北半球インフルエンザワクチン株選定会議(オンライン・3名)
- (セ) 令和3年2月23-25日 第4回 Global Vaccine and Immunization Research フォーラム(GVIRF 2021)(オンライン・1名)
- (モ) 令和3年2月24日 WHO 西太平洋地域事務局が主催する APSED(オンライン・1名)
- (ヤ) 令和3年3月24日 WHO 西太平洋地域事務局が主催する APSED Whole Genome Sequence (WGS) サーベイランスシステムに関する会議(オンライン・1名)
- (ユ) 令和3年3月25-26日 ポリオ実験室ネットワーク非公式会議(オンライン・2名)

ウ WHO フェロウシップ受入

なし

エ WHO 評価団による視察

なし

オ WHO 総会及び執行理事会に関する対処方針案への厚生労働省からのコメント依頼への対応

4. その他協力、調整

(1) 国際会議支援(所内開催)

なし

(2) 国内会議支援(所内開催)

なし

(3) 海外の要人来訪(オンライン等含)

ア 令和2年4月2日 駐日ウズベキスタン共和国大使館 大使・他1名表敬訪問。

イ 令和2年4月24日 駐日欧州連合代表部 一等参事官・他2名、駐日欧州連合加盟国大使館 科学技術担当参事官等23名意見交換。(オンライン)

ウ 令和2年5月7日 在京シンガポール大使館 大使・他2名意見交換。(オンライン)

エ 令和2年5月20日 駐日欧州連合代表部 大使・他4名、駐日欧州連合加盟国大使館 大使等26名意見交換。(オンライン)

オ 令和2年5月22日 在京米国大使館 科学イノベーション開発課長・他4名意見交換。(オンライン)

カ 令和2年6月23日 在京シンガポール大使館 大使・他2名意見交換。(オンライン)

キ 令和2年7月9日 韓国国立感染症対策センター(KCDC:現KDCA) IHR 参加国連絡窓口担当官・他1名意見交換。(電話)

ク 令和2年8月17日 在京シンガポール大使館 大使・他1名意見交換。(オンライン)

ケ 令和2年9月17日 駐日ドイツ連邦共和国大使館 大使・他1名表敬訪問・意見交換。

コ 令和3年3月11日 在京シンガポール大使館 大使・他2名意見交換。(オンライン)

(4) 感染研セミナー等の開催

なし

II. その他の国立感染症研究所所掌事務に係る調整等

1. 国際交流事業に係る募集・申請等

日本学術振興会等国際交流事業(外国人研究者招へい、国際学会等派遣に係る募集、申請手続、調整等)を行っている。

(1) 外国人特別研究員

(2) 二国間共同研究

2. 国際協力連絡・調整等

- (1) 実地疫学専門家養成コースに係る調整の他、厚生労働省健康局結核感染症課、JICA、国立保健医療科学院、国立国際医療研究センター等との国際協力連絡・調整等を行っている。
- (2) 日本医療開発研究機構補助金の外国人研究者向け研修等の受入を行っている。

3. その他

- (1) 感染研インターネット上の専用ページ「国際協力」において、国際研究活動の情報を提供している。
- (2) 所内専用ページにおいて、全ての職員の海外活動情報(海外出張報告書)の還元、外国人研究者の来日に係る手続きや日本学術振興会交流事業に係る応募情報等掲載している。